

学校経営理念	児童にとって「学びたい学校」、教職員にとって「働きがいのある学校」、保護者や地域にとって「応援したい学校」づくりを推進する。 <目指す学校像> ○確かな学力を育む学校 ○校風・伝統を大切にし、気持ちのよい挨拶が交わせる爽やかな学校 ○清掃が行き届いた清潔で美しい学校 ○保護者・地域の人たちから信頼される学校 <目指す児童像> 【知】伝え合い、学び合う子…進んで学び、深く考え、行動できる 【徳】思いやりのある子…自他のよさを認め、互いに協力し合って豊かに生きていく 【体】健やかな子…忍耐強く、健康な心と体をもつ <目指す教師像> ○心身共に健康で、児童に寄り添い、児童と共に前向きに歩む教師 ○豊かな人間性を持ち、使命感にあふれた教師 ○確かな学力を身に付けさせるため、創意と工夫を凝らした授業を創造できる教師 ○広い視野と展望を持ち、保護者や地域の人たちと積極的に関わることができる教師
--------	--

	中期経営目標	短期経営目標(評価項目)	主な取組の場
I 豊かな心の育成	①自己肯定感の育成や人間関係づくりを進める	①i-check(年2回、1年生のみ12月に1回)を実施し、学級集団の状態を的確に把握して、よりよい学級集団づくりを進める。 ○1回目より2回目の数値を改善 ○i-checkのEグループ(自己肯定感が低く、人間関係に悩みを抱えている可能性がある)0名	学級経営、特別活動、i-check、学校行事
		②道徳教育を充実させる。(授業研究・道徳意識調査年2回) ○道徳意識調査で、「自分にはよいところがあると思う」、「頑張りたいことや目標をもっている」、「友達や家族の役に立ちたいと思っている」肯定的評価90%以上(強肯定70%以上)	特別の教科 道徳、道徳意識調査(年2回)
		③人権教育を基盤とした「仲間づくり」に取り組む。 (縦割り班活動の充実やことばを大切にすることの醸成など) ○縦割り班活動の充実(縦割り班活動の回数を昨年度以上実施) ○「ふわふわ言葉・チクチク言葉」の取組を実施し、「ふわふわ言葉を使っている」肯定的評価90%以上(強肯定70%以上)、「ちくちく言葉を使っていない」肯定的評価93%以上(強肯定73%以上)	人権学習、特別活動(学級活動、児童会活動、縦割り班活動など) ふわふわ言葉アンケート(年2回)
		④学校生活アンケート(いじめ調査)を実施し、指導に生かす。 ○学校生活アンケート「学校生活が楽しい」肯定的評価93%以上(強肯定73%以上)、「いじめはどんなことがあってもいけない」肯定的評価100%	学級経営、特別活動(学級活動、児童会活動、学校行事など) 学校生活アンケート
	②読書活動の充実	①朝の読書、読み聞かせ、図書館を利用した授業を実施し、読書好きの児童を育てる。 ○一人あたりの図書貸し出し冊数 月平均:低学年15冊、中学年10冊、高学年8冊以上 ○貸し出し冊数の学年、学級差がないように読書の習慣を身に付けさせる。	読書指導、朝の読み聞かせ、朝読書、国語
		③基本的な生活習慣や規範意識の定着に努める。	①生活リズムの点検に取り組み、生活リズムの改善を意識させる。 ○生活点検の朝起きる時刻(全学年:6時半)全ブロック80%以上 朝食を食べている、全学年95%以上
②あいさつや掃除のできる児童を育てる。 ○時・場・礼アンケート 「チャイム席を守っている」、「無言ですみずみまで掃除できている」、「朝や帰りの挨拶や、返事ができている」肯定的評価93%以上(強肯定73%以上)、「呼びきりせずに名前を呼んでいる」肯定的評価85%以上(強肯定65%以上)	朝のあいさつ運動、特別活動、特別の教科 道徳 時・場・礼アンケート		
③「くらしのきまり(学校・夏冬休み)」を遵守する児童を育てる。 ○道徳意識調査「学校のきまりを守っている」肯定的評価90%以上(強肯定70%以上)	特別活動、特別の教科 道徳 学校だより、学級だより		

【評価基準】A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

	中期経営目標	短期経営目標(評価項目)	主な取組の場
II 学力の向上	①子どもたちが自ら考え表現でき、伝え合い、学び合いのある授業の創造を図る。	①児童の考えや表現を大切にしたい伝え合い、学び合いのある授業を行う。 (東小学校授業スタンダードの実施) ○学校生活アンケートで、「授業がわかる」、「授業に主体的に取り組んでいる」、「タブレットを学習に活用することができている」肯定的評価90%以上(強肯定70%以上)	各教科等の授業、学校生活アンケート
		②教科等の学習で、ICTを活用した授業や校内研修を充実させる。 ○低・中・高ブロックに別に研究授業を行う。 ○ICT(児童用タブレットPC、電子黒板等)活用に関する研修を深め、授業改善につなげる。 ○教職員が積極的に他校の研究発表会に行けるような環境を整える。	授業づくり講座、校内研修 校外研究発表会への参加
	②子どもたちの基礎学力の定着と、学力の向上に努力する。	①これまでの全国学力・学習状況調査、標準学力調査の結果を分析し、日々の授業改善に生かす。 ○標準学力調査において、全学年全国平均を上回る。正答率30%以下の児童0名 ○全国学力定着状況踏査で、算数・国語ともに全国平均を3ポイント以上上回る。正答率30%以下の児童0名(6年) ○高知県学力定着状況調査で、算数・国語・理科ともに県平均5ポイント以上上回る。正答率30%以下の児童0名(4・5年)	全国学力定着状況調査 高知県学力定着状況調査 標準学力調査、各教科等の授業
		②基礎基本の確実な定着を図り、個別の支援を行う。 ○TT体制で指導にあたる。 ○朝のウォーミングアップ・放課後パワーアップ教室を充実させる。特に朝のウォーミングアップを地域の方にも手伝ってもらい、基礎基本の徹底を行う。	各教科等の授業、朝のウォーミングアップ、 放課後パワーアップ教室
③特別支援教育に全校体制で取り組む。 ○定期的(月1回以上)に校内支援会を開催する。 ○OSCやSSW、特別支援教育巡回アドバイザー等との連携を密に取り、チームで課題解決にあたる。	校内研修、校内支援会		
③家庭学習の習慣化に努める。	①家庭と連携し、家庭学習が習慣化されていない児童について、家庭学習の支援を行う。 ○家庭学習を「しない」児童の割合を0%にする。 ○タブレットの持ち帰り(個に応じた学びの保証)	学校だより、学級だより、家庭学習支援	
III 学校への信頼	①保護者や地域との連携を密にし、信頼される開かれた学校を進める。	①保護者や地域に対して学校通信等により学校情報を積極的に発信する。 ○学校通信「三宝」、学年通信を月に1回以上、校長通信「野市東」を月3回程度のペースで発行する。 ○学校Webページを適宜更新する。 ○学校評価書を公開する。	学校だより、学年だより、学校Webページ、PTA 広報 学校評価
		②参観日、運動会などの学校行事を、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら実施する。 ○懇談会の内容は事前に保護者に伝える。	学校だより、学級だより、PTA活動 地域学校協働本部
		③児童にとって安全で安心できる学校づくりを行う。 ○学期ごとに安全点検を行う。 ○避難訓練(防災・防犯)を年間5回以上行う。	特別活動、安全点検、防災・防犯訓練 交通指導、交通安全教室 コミュニティ・スクール、地域学校協働本部
		④保護者や地域の方々の学校支援の充実を図る。 ○コミュニティ・スクール、地域学校協働本部事業を計画的に推進し、学校・家庭・地域が連携し、地域住民の参画による学校運営を推進する。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら、ボランティア活動を推進する。	PTA活動 コミュニティ・スクール 地域学校協働本部

【評価基準】A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要